

利用者用 76(68.5%) 業務用 26(23.4%)
兼用 8(7.2%) 未定 1(0.9%)
その他
設備の充実等、今後の計画等についてつぎの
意見がよせられた。

機種を増設、CDソフトの種類の実、館
員教育の実施、利用者マニュアルの整備、
学内 LAN によるオンライン検索システム
を実施予定

以上

平成2年度 目録システム（地域）講習会を開催

学術情報センターの目録システムに精通し、目録・所在情報サービスの一層の促進を図るため、同センターと本学附属図書館との共催で近畿北部地区（滋賀・京都・奈良）の大学図書館目録担当者を対象に、下記のとおりに3回に分けて開催しました。

記

期 間：第1日目 ： 平成2年8月28日

第2日目～： 平成2年9月4日～7日、9月18日～21日、10月2日～5日

会 場：京都大学附属図書館地域共同利用室

受講者：国公立大学図書館から 29名

なお、第1日目には、学術情報センターの講師から「目録システム概論」、「目録情報の基準」等についての講義があり、第2日目以降は本学図書館職員講師による検索実習、登録実習等が行われた。

以上

第4回国立大学図書館協議会シンポジウム（西地区）開催される

国立大学図書館協議会は、平成2年6月に熊本で第37回総会を開き、その中で「大学図書館とニューメディア：CD-ROMを中心に」をテーマに研究集会を行いました。その趣旨を周知させ、国立大学図書館における適切な対応の方法を検討するため、シンポジウムを東西二地区の会場で開催することとし、西地区では平成2年11月1日（木）と2日（金）の2日間、本館AVホールを会場として、41大学、46名が参加して、以下の日程で開催されました。

第1日目：11月1日（木）

講演 「大学図書館のネットワーク化とニューメディア」

京都大学教育学部助教授 原田 勝 氏

講演 「CD-ROMの構造と利用上の諸問題」

京都大学大型計算機センター教授 星野 聰 氏

第2日目：11月2日（金）

「利用できるCD-ROM資料について」

コメンテーター：山中 康行 氏（京都大学）

討議 「各種CD-ROMの利用方法」

第1会場：「Excerpta Medicaの利用方法」